

《転任された成田先生へ贈る言葉》

大麻、夕張、札工と先生のサッカーをそばで見ることができました。

また、私の少年団のベンチに座っていただいたこともあります。

さかのぼれば、40年近くも前に、札工と旭川東の選手として、当時、道大会の会場であった札工のグラウンドに立っています。成田先生とは、OBとして、また、保護者としてよい時間を過ごさせていただきました。多くを語ることはできませんが、単なるサッカーの技術指導ではなく、教員として生徒指導、教育的な配慮など、ご苦労があったと思います。同じく育成年代のサッカーに関わるものとして、卒業生が振り返ることのできる場所を作っていただき心から感謝いたします。

苫工は、過去3校に比べ、もっとも着任時の環境が整っている学校だと聞きました。ご活躍を期待しています。

補欠で16番の父と10番の息子ブーニーでした。

成田先生十数年間、本当にお疲れさまでした。

私は成田先生のおかげで、今の札幌工業があると思います。

私が勤めている会社には、10年前に札工サッカー部キャプテンを行っていた先輩がいます。その先輩から聞いた話では、先輩が2年のときに成田先生が札工に来られたそうです。その当時の札工は、1回戦敗けがあたりまえで、グラウンドには雑草が生えているようなチームだったそうです。そのチームを全道大会に出場できるチームまで指導して頂き、なによりグラウンドを整備して頂き、サッカーをする環境を充実させてくれたことに本当に感謝しています。

私の代も含めここ最近では、成田先生を全道大会に連れていくことができず、申し訳なく思っています。私の代は、いろいろな問題があり、始めは20人近い部員も最後には8人になってしまい、技術面では他校の選手達より間違いなく劣っていました。それでも成田先生のおかげで他校に勝てるチームであったことは私の誇りに思っていることです。

今思えば恥ずかしい話ですが、当時キャプテンをさせてもらっていたときは、常に怒鳴り散らし、チームの雰囲気悪くしていました。それでも許し支えてくれたチームメイトにはもちろん、成田先生にも私のことを認めていただき『お前に任せる』と仰っていただいたときは、とても嬉しく思ったことを今でも覚えています。

今でも現役でサッカーやフットサルチームに所属しています。その中で戦える選手になれたのは、間違いなく成田先生のおかげです。

成田先生とまた会える日を楽しみに頑張っていきます。

成田先生もあまり無理をせず、お身体に気をつけてください。

能登拓磨

成田先生のご健康とさらなるご活躍に期待しています。

札工サッカー一部OB会一同